

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	258

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	文化財保護
事業目的	文化財の適切な保護措置や活用を推進することで、地域資源として次世代に正しく伝えるとともに、犬山市を訪れる観光客へ文化財周知を行い、交流人口の増加を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の運営や各地の事例研究により市内文化財の適切な保存・管理・活用を図る。 ・文化財関連市民団体への支援や地域の文化財の普及啓発により、文化財愛護精神の醸成を図る。 ・文化財の保存・活用に関する方針を定める文化財保存活用地域計画を策定し、文化財行政を計画的に推進する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の運営 ・埋蔵文化財調査の実施 ・天然記念物ヒトツバタゴ自生地維持管理 ・妙感寺古墳、磨墨塚史跡公園、羽黒城址西口広場の維持管理 ・史跡整備市町村協議会への参加 ・文化財関連市民団体の支援 ・文化財保存活用地域計画の策定（R5年度認定予定） ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物ヒトツバタゴ自生地管理業務 439千円 ・発掘調査委託料（羽黒城址） 18,348千円 ・文化財保存活用地域計画策定支援委託料 9,526千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山市に残る貴重な文化財を後世に正しく残すために文化財の適切な維持管理を実施する。また、文化財関連市民団体の支援等により、文化財に対する市民意識を醸成する。 ・文化財保存活用地域計画の策定過程においても市民の参加を求め、行政だけでなく、地域が一体となって文化財を保護する体制の構築を目指す。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化財保護一般事務	748	0	0	68	680	91%
文化財維持管理	21,273	9,333	0	11,940	0	0%
文化財保存活用地域計画策定	9,967	9,835	0	0	132	1%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	31,988	19,168	0	12,008	812	3%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	260

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	歴史まちづくり
事業目的	文化財や歴史的資源の保存・活用を行うことにより当市の歴史的風致の維持向上を図りながら歴史まちづくりを推進する。また、重点区域における効果的な歴史的風致維持向上のための補助制度の活用や計画の見直し等を随時行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史まちづくり法」に基づき国より認定された「犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）」に沿って、事業を推進する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり協議会を開催し、「犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）」の進捗管理や評価及び計画変更等の協議を実施。 ・歴史まちづくり協議会専門部会を開催し、犬山城下町における歴史まちづくりに必要となる専門的な議論や施策の調整・確認を実施。 ・歴史的風致を活かしたまちづくりにかかる協議会に参加する。 (中部歴史まちづくりサミット・歴史的景観都市協議会等) ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくり協議会委員報酬 94千円 ・歴史まちづくり協議会委員旅費 149千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的風致維持向上計画（第2期）に基づいた事業を実施することで、市内の歴史的風致の維持向上を図る。 ・犬山市歴史まちづくり連絡調整会議の開催により、庁内での情報共有を図りながら、歴史まちづくり事業における庁内の連携を高める。 ・各種会議を通じた歴まち認定都市との交流を積極的に深め、歴史まちづくりに関する情報共有を図りながら、他市町との連携を進める。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
歴史まちづくり推進	707	0	0	0	707	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	707	0	0	0	707	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	8	歴史まちづくり総務費	260

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	犬山市史編さん
事業目的	資料の調査・収集を進めるとともに、それらを基に『(仮)犬山市史平成編』を編さんして犬山市の歴史を後世に正しく伝える。 収集資料や調査結果の公開を通して、犬山市民の歴史に対する関心を高め、郷土への愛着を育む。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市域に関する資料の調査・収集 ・(仮)犬山市史平成編の編さん ・収集した資料の整理および公開体制の構築 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○資料の調査・収集 ○関係者へのヒアリング ○(仮)犬山市史平成編の編さん <ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん事業計画策定 ・市史編さん委員選定・委嘱 ・資料調査 ・翌年度以降のスケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度：資料調査・史料編執筆 令和5年度：資料調査・史料編刊行・通史編執筆 令和6年度：通史編刊行・記念イベント開催 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市史編さん委員報酬 1,770千円 ・翻刻作業謝礼(古文書翻刻) 352千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山市史編さん事業計画を策定し、計画に基づいた事業を推進する。 ・広報紙等を通じて犬山市の歴史に関する資料の調査、収集を進める。 ・既存の保管資料と新規収集資料の分類整理を行う。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山市史編さん	2,837	0	0	2,837	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	2,837	0	0	2,837	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	262

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	民俗文化財
事業目的	市内の有形・無形の民俗文化財を適切に保存し、後世へ正しく伝承する。伝統行事の継承の支援を通じてコミュニティの存続を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 ・市内の有形・無形の民俗文化財の適切な保存と後世への伝承 ●主な事業内容 ・民俗的価値が高く、地域の生活文化の核として住民を結集する上で重要な役割を果たしてきた犬山祭の車山行事（ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財）を後世へ正しく継承する。また県指定有形民俗文化財である車山13輛についても文化財保護の立場から現況を把握し、有形・無形の双方併せた保護施策の推進を図る。 ・市指定無形民俗文化財である石上祭の継承と保護施策の推進を図る。 ・市内の各地域で守り伝えられてきた伝統行事（無指定）の継承と保護施策の推進を図る。 ・かつて市内で行われていた伝統行事等で、維持が困難となり、休止の状態が続いているものを復旧再開し、その継承を図る。 ●主な予算の内訳 ・犬山祭山車保存修理補助金 2,970千円 ・犬山祭伝承助成金 5,850千円 ・犬山祭保存会助成金 2,000千円 ・民俗文化財復旧再開事業補助金 1,060千円 ●事業の実施に至った経緯 ・城下町及び旧農村部における人口の少子高齢化は、伝統文化の維持継承にも影を落としている。当地域に伝わる民俗文化財（祭り・伝統芸能等）を衰退変容の危機から守ることは、地域振興の観点からも重要であり、適切な保護措置を講じる必要がある。 ●予測される効果 ・後継者の育成、道具の修理新調、記録作成などの保存事業の促進により有形・無形の民俗文化財が保護され、地域振興にも寄与する。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「犬山祭の車山行事」を後世に正しく継承するため、計画に沿って保存修理事業を適切に行う（令和3年度は練屋町中幕復元新調及びからくり人形修理）。 ・市内の各地域で守り伝えられてきた伝統行事の継承のため、後継者の育成や道具の修理新調などの保存伝承事業を促進する（令和3年度は、後継者育成25団体の補助を予定）。 ・かつて市内で行われていた伝統行事等で休止の状態が続いているものを復旧再開しその継承を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
犬山祭伝承保存	12,089	0	0	12,089	0	0%
民俗文化財保護	2,815	0	0	2,815	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	14,904	0	0	14,904	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	264

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	伝統的建造物
事業目的	現存の伝統的建造物の保存修理を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・修理が必要な伝統的建造物の調査を行い、必要に応じて補助することで、伝統的建造物の保存を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の現存状況調査及び保存支援を行う。 ・伝統的建造物修理の技術指導を行うことで、適切な伝統的建造物の修理・修景に資する。 ・文化財建造物保存修理関係者等研修会などに参加することで、国の動向や各地の先進事例、専門家の意見等の様々な情報を得る。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物技術指導委託料 579千円 ・伝統的建造物保存委員会報酬 130千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・犬山城下町を中心とした市内に残る伝統的建造物の現存状況等について調査を行い、伝統的建造物の保存に関する支援等を行うことで、伝統的建造物の滅失を食い止め、歴史的な町並みの保存を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
伝統的建造物保存	904	0	0	0	904	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	904	0	0	0	904	100%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	264

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	青塚古墳史跡公園
事業目的	県下で2番目の大きさを誇る前方後円墳で平成12年に史跡整備を完了した青塚古墳を、周辺の文化遺産の活用を図りながら、地域交流拠点として地域住民との連携により管理・活用する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年に供用開始した青塚古墳史跡公園を適切に維持管理する。 ・民間団体(NPO法人ニワ里ネット)に運営管理を委託することで、地域交流拠点として活用する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡公園活用・管理委託 令和2年7月～令和7年3月(長期契約) ・学芸員による青塚古墳についてのガイダンスの実施や普及啓発事業の実施 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・需用費(施設修繕等) 1,227千円 ・施設管理委託料(施設管理、普及啓発、保守、点検、警備) 9,434千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者へのガイダンス、青塚古墳や周辺の文化遺産を活用した普及啓発事業を実施することで、来園者数の確保を行うことができる。また、地域にのこる文化遺産を地域の方に周知することで、文化遺産に対する意識の醸成を図ることができる。 ・施設点検により劣化が確認された看板やベンチの修繕等を実施し、利用者の安全性と利便性を向上させる。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
青塚古墳史跡公園管理	10,906	0	0	10,906	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	10,906	0	0	10,906	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	264

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	ヒトツバタゴ自生地公有化
事業目的	大正12年に国の天然記念物に指定されたヒトツバタゴ自生地について、恒久的な保存や適切な維持管理、活用を図るため、土地公有化を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 天然記念物ヒトツバタゴ自生地公有化 ・令和4～6年度 天然記念物ヒトツバタゴ自生地保存活用計画策定 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・天然記念物ヒトツバタゴ自生地公有化に必要な土地の境界確定、不動産鑑定等を行い、土地所有者との売買契約に向けた協議を行う。 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・土地境界確定業務 1,477千円 ・物件調査 1,881千円 ・不動産鑑定 1,113千円 ●今後のスケジュール <ul style="list-style-type: none"> 土地所有者との合意形成後、土地取得費用等を別途補正予算計上し、年度内に土地を取得する。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> 文化庁国庫補助金対象（補助率80%） ※ 土地取得費用等は国庫補助対象
事業の目標	・天然記念物ヒトツバタゴ自生地の土地境界確定、不動産鑑定等を行い、売買契約に向けた土地所有者との協議を行う。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
ヒトツバタゴ自生地公有化	4,664	3,678	0	0	986	21%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	4,664	3,678	0	0	986	21%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	9	歴史的資産保存・継承費	266

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	東之宮古墳								
事業目的	令和2年度に史跡整備を完了した東之宮古墳について、普及啓発事業や草刈り・清掃を実施するなど、積極的な活用、適切な維持管理を行う。								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22～令和2年度 史跡東之宮古墳整備事業 ・平成26年度～ 東之宮古墳普及啓発事業 ・令和3年度～ 東之宮古墳活用事業（シンポジウム、散策イベント）、維持管理（草刈り・清掃） ・令和3～7年度 市民参加による墳丘修復事業 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・東之宮古墳を広く周知するためのイベント（散策会等）を実施する。 ・東之宮古墳の史跡整備完了を記念したシンポジウムを実施する。 ・東之宮古墳の前方部を市民参加により復元する。 ・草刈り・清掃等を実施し、東之宮古墳を適切に維持管理する。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・講師謝礼（シンポジウム）</td> <td style="text-align: right;">170千円</td> </tr> <tr> <td>・印刷製本費（シンポジウム）</td> <td style="text-align: right;">226千円</td> </tr> <tr> <td>・東之宮古墳管理業務委託（草刈り、清掃）</td> <td style="text-align: right;">1,803千円</td> </tr> <tr> <td>・普及啓発委託（散策会、修復事業）</td> <td style="text-align: right;">438千円</td> </tr> </table> 	・講師謝礼（シンポジウム）	170千円	・印刷製本費（シンポジウム）	226千円	・東之宮古墳管理業務委託（草刈り、清掃）	1,803千円	・普及啓発委託（散策会、修復事業）	438千円
・講師謝礼（シンポジウム）	170千円								
・印刷製本費（シンポジウム）	226千円								
・東之宮古墳管理業務委託（草刈り、清掃）	1,803千円								
・普及啓発委託（散策会、修復事業）	438千円								
事業の目標	・東之宮古墳を適切に維持管理するとともに、地域学習の場として多くの方に訪れていただくため、周辺施設等と連携しながら活用を図る。								

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
東之宮古墳保存活用	4,038	0	0	4,038	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	4,038	0	0	4,038	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	266

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	文化史料館
事業目的	犬山の歴史資料等の収集・保管・調査を推進するとともに、犬山城と城下町の歴史文化の紹介を行うガイダンス施設として、市民・観光客の文化財に対する理解を促進し、城下町の賑わいを創出する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び所蔵品の適切な管理運営 ・所蔵品等の展示公開、ワークショップの開催、各種情報発信等による犬山城と城下町の歴史文化、からくり文化の紹介 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財に関する調査研究に基づく常設展及び企画展の開催 ・からくり人形の実演と製作公開 ・各種ワークショップの開催 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ○本館 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 1,056千円 ・委託料（施設管理業務他） 6,884千円 ○南館 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市の特別職の職員で非常勤のもの報酬 2,880千円 ・委託料（企画活用業務） 5,119千円 ●広域的な連携及び民間活力の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人犬山城白帝文庫ならびに一般社団法人犬山祭保存会との連携を図り、魅力ある企画展やからくり文化の情報発信を行う。
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の充実と来館者案内のレベルアップを図ることでリピーターを増やす。 ・ワークショップの開催により、新たな来館者層を開拓する。 ・図録とミュージアムグッズの販売を促進し、入館料以外の収入を増やすことによって、施設の歳入全体を増やす。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
文化史料館管理	11,839	0	0	11,839	0	0%
文化史料館南館管理	13,625	1,440	0	12,185	0	0%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	25,464	1,440	0	24,024	0	0%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	268

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I : 事業概要

施策事業名	中本町まちづくり拠点施設						
事業目的	まちづくり活動の拠点としてコミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援し、多世代交流を促進する。また、犬山祭の車山や関連資料を適切に保管・展示公開することにより、犬山城下町の伝統文化の魅力を内外へ発信する。更に、犬山城や城下町の他の施設との連携を図り、相乗効果による地域の賑わいを創出する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援する。 ・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の保管と展示公開を行う。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示ホールにて犬山祭の車山4輦を展示し、光と音の演出で祭り当日の雰囲気再現する。展示室では犬山祭・城下町の映像と関連資料の展示により犬山の魅力を発信する。 ・広場女子トイレ(1基)の洋式化のための改修工事を実施する。 ●主な予算の内訳 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・修繕料(施設修繕)</td> <td style="text-align: right;">530千円</td> </tr> <tr> <td>・施設管理委託料(施設管理、保守点検)</td> <td style="text-align: right;">5,067千円</td> </tr> <tr> <td>・改良工事請負費(広場女子トイレ洋式化改修)</td> <td style="text-align: right;">398千円</td> </tr> </table> 	・修繕料(施設修繕)	530千円	・施設管理委託料(施設管理、保守点検)	5,067千円	・改良工事請負費(広場女子トイレ洋式化改修)	398千円
・修繕料(施設修繕)	530千円						
・施設管理委託料(施設管理、保守点検)	5,067千円						
・改良工事請負費(広場女子トイレ洋式化改修)	398千円						
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内のスペースを提供することにより、コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動を支援する。 ・施設管理を地元中本町町内会に委託し、地域に根差した施設運営を実施する。 ・犬山祭に使用する車山や犬山に伝わる資料の適切な保管と展示公開を実施し、犬山の魅力を内外に発信して地域の賑わいを創出する。 ・観覧施設として安全快適な環境を整備することを目的とした営繕工事を実施する。 						

II : 個別事業内訳

(単位: 千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
中本町まちづくり拠点施設管理	8,087	0	0	3,822	4,265	53%
中本町まちづくり拠点施設営繕	398	0	0	0	398	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	8,485	0	0	3,822	4,663	55%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設費	270

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	旧磯部家住宅復原施設
事業目的	登録有形文化財「旧磯部家住宅」を適切に維持管理・公開し、江戸期の犬山の商家を市民・観光客に紹介する。町屋まちづくり拠点施設として多世代交流を促進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山市が目指す「歴史資源を活かしたまちづくり」を推進するため、登録有形文化財である旧磯部家住宅を適切に維持管理し、一般公開する。 ・来館者に犬山の伝統的な商家の雰囲気に触れてもらうと同時に、城下町への町歩きを促す。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・旧磯部家住宅に関連する資料の展示 ・コミュニティ団体及びまちづくり団体の活動支援 ・展示蔵の外壁改修工事 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 171千円 ・施設管理業務委託料（施設管理） 2,945千円 ・維持補修工事請負費（外壁改修） 517千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理を「NPO法人犬山城下町を守る会」に委託し、建物を適切に維持管理する。 ・旧磯部家住宅に関する情報発信を行うとともに、犬山北のまちづくり推進協議会磯部邸事業企画部の協力で各種イベントを開催する。 ・施設の公開による活用だけでなく、貸室としての幅広い使用を促進し地域活性化に貢献する。 ・公開施設として安全快適な環境を整備することを目的とした営繕工事を実施する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
旧磯部家住宅復原施設管理	4,274	0	0	312	3,962	93%
旧磯部家住宅復原施設営繕	517	0	0	0	517	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	4,791	0	0	312	4,479	93%

令和3年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
9	5	10	伝統文化施設	270

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	旧堀部家住宅
事業目的	登録有形文化財建造物を適切に管理し市民参画による運営支援を行うことで安全な利活用を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 未整備箇所の保存修理を順次実施し、建物を適切に維持管理する。民間活力を導入した建物・敷地活用と事業運営の支援をする。 ●主な事業内容 ○文化財建造物の保存 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の点検を実施し、保存修理が必要な箇所を早期に把握する。 ・賃借人の活用計画との調整を行いながら保存修理を実施する。 ○安全な利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜修繕 ○集客と文化財の理解促進、意識高揚 <ul style="list-style-type: none"> ・広報・HP等による情報発信 ○広域民活の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸借契約(第1期：H27.4.1～H30.3.31、第2期：H30.4.1～R5.2.28)に基づき民間活力による運営を支援する ・民間による事業運営と管理状況を評価し賃貸借契約期間満了後の旧堀部家住宅運営のあり方を検討する ●主な予算内訳 ○修繕料：493千円、委託料：446千円（警備委託料：198千円、花木維持管理委託料：198千円 等）
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財建造物の保存 <ul style="list-style-type: none"> ・使用者の建物利用計画と調整を図りながら、主屋の廊下、鍵かけ壁等の保存修理を実施する。 ●集客と文化財への理解促進、意識高揚 <ul style="list-style-type: none"> ・広報・HP等による情報発信で集客と文化財への理解促進を図る。 ●今後の活用方針の決定 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の賃貸借契約の期間満了（令和4年度）に向け、今後の堀部邸の在り方を決定する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
旧堀部家住宅管理	1,092	0	0	3	1,089	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	1,092	0	0	3	1,089	100%

令和3年度 予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	340

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I : 事業概要

施策事業名	犬山城一般管理
事業目的	犬山市が管理する国宝犬山城天守及び史跡犬山城跡について、適切な保存・管理を実施する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・入場登閣者の対応と国宝犬山城天守及び史跡犬山城跡の適切な保存・管理 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務の実施 ・城郭内修繕の実施 ・城郭内樹木伐採剪定 ・犬山城管理委員会の開催 ・入場登閣券、入場者用のパンフレット等の印刷 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費（入場券、パンフレット等）3,329千円 ・施設管理委託料（警備、監視、樹木伐採、運営業務等）81,645千円 ・補助金（犬山城白帝文庫）29,700千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務、各設備保守点検等を円滑に行い、施設の運営及び安全管理を適切に行う。 ・き損・劣化した部分の修繕等を着実に施工し、適切な施設設備の維持を行う。

II : 個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源 の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般管理	136,504	0	0	550	135,954	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	136,504	0	0	550	135,954	100%

令和3年度 予算説明書

特別会計名	予算書(P)
犬山城費特別会計	342

部局名	教育部
課名	歴史まちづくり課

I：事業概要

施策事業名	犬山城調査・整備
事業目的	「国宝犬山城天守」及び「史跡犬山城跡」の適切な管理を実施し、管理団体として文化財を恒久的に保存する責務を果たす。また、残存する遺構等の調査を推進し、史跡の追加指定を目指すと共に恒久的な保存活用に向けた史跡整備を実施する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣詳細調査 令和2～5年度予定 ・犬山城遺構調査（門・櫓等） 令和2～4年度予定 ・犬山城大手門枡形跡（福祉会館跡地）調査・整備 令和3～8年度予定 ・国宝犬山城天守防災事業 令和3～4年度予定 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣詳細調査（石垣カルテ作成） ・犬山城移築門調査 ・犬山城大手門枡形跡（福祉会館跡地）発掘調査 ・天守スプリンクラー設置工事設計 ・犬山城管理委員会等の開催 ・普及啓発事業（シンポジウム・講座等）の開催 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会へ参加し共同研究を実施 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・石垣詳細調査委託 16,687千円 ・犬山城大手門枡形跡（福祉会館跡地）発掘調査委託 22,253千円 ・天守スプリンクラー設置工事設計委託 5,000千円
事業の目標	・残存する遺構等の調査を推進し基礎資料を得たうえで、史跡の追加指定について文化庁との協議を進める。また、天守へのスプリンクラー設置に関しては、木造文化財建造物の特性を踏まえた最適な設計を行う。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
調査・整備	50,897	20,041	0	26,127	4,729	9%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	50,897	20,041	0	26,127	4,729	9%